



健康社会学研究会

ニュースレター No.87

発行：健康社会学研究会

事務局：〒164-8530 東京都中野区中野 4-21-2 帝京平成大学 現代ライフ学部 人間文化学科 (担当 森川 洋)

FAX 03-5860-4945 E-mail: h.morikawa@thu.ac.jp

ニュースレター No.87/2018年10月 編集担当：上杉 剛

12月 第125回 月例会のご案内

テーマ：学校を核としたヘルスプロモーション活動の可能性

～保健学習の視点から～

報告者：長岡 知 氏 (順天堂大学 スポーツ健康科学部)

日時：平成30年12月8日(土)15時～17時

会場：国際医療福祉大学大学院 東京赤坂キャンパス

参加費：会員無料 非会員 1,000円(資料代)

申込：会場のセキュリティの関係上、本月例会に参加される方は、参加の旨をなるべく事前に

事務局(h.morikawa@thu.ac.jp)までご連絡ください。

【会場アクセス】

- 銀座線・丸ノ内線「赤坂見附駅」A出口より徒歩3分
- 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」A出口より徒歩3分
- 千代田線「赤坂駅」徒歩8分
- 銀座線・南北線「溜池山王駅」徒歩12分



月例会終了後、会場周辺で懇親会を予定しております

2月 第60回 健康社会学セミナーのご案内

テーマ：『(仮)歯科保健を通してコモンリスクアプローチを考える』

講師：安藤 雄一 氏 (国立保健医療科学院 統括研究官 地域医療システム研究分野)

田村 光平 氏 (東京都多摩小平保健所)・高澤 みどり 氏 (市原市子育てネウボラセンター)

コーディネーター：齊藤 恭平 氏 (東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科教授)

日時：平成31年2月16日(土) 14時～17時(受付13時30分～)

会場：東洋大学 朝霞キャンパス

参加費：会員無料 非会員 2,000円

学生(院生除く)500円

【会場アクセス】

- 東武東上線「朝霞台」駅・JR武蔵野線「北朝霞」駅より徒歩15分

セミナー終了後、朝霞台駅周辺で懇親会を予定しております



第124回 月例会のご報告

日時：平成30年9月1日(土)15時～17時

会場：日本女子体育大学 烏山キャンパス

テーマ及び報告者：

(1)欧州型ヘルスプロモーションの検討

—ECSS(European College of Sport Science) 2016 のレビューを通して—

森川 洋 氏 (帝京平成大学現代ライフ学部人間文化学科 講師)

(2)地域高齢者のコミュニティ意識の現状とその関連要因—学校教育活動参加経験での検討—

細川 佳能 氏 (日本女子体育大学大学院スポーツ科学研究科 修士課程1年)

(3)高校生の母親の健康づくり活動実施状況と環境要因に関する検討

田中 安理 氏 (日本女子体育大学大学院スポーツ科学研究科 修士課程1年)

コーディネーター：助友 裕子 氏 (日本女子体育大学 教授)

記録的な猛暑日を経て暦の上では秋となった2018年9月1日(土)、日本女子体育大学烏山キャンパスにおいて、第124回月例会が開催されました。同会場での開催は、一年前の同時期に特別セミナーとして海外からの研究者を招聘して行われた会合以来のことであり、懐かしい面々のご参加も見られました。

2時間の月例会では、3名からの報告がありました。まず、森川洋先生(帝京平成大学)より、「欧州型ヘルスプロモーションの検討

—ECSS(European College of Sport Science)

2016 のレビューを通して—」について、ヘルスプロモーション・リサーチ誌に掲載された論文(森川ら:ヘルスプロモーション・リサーチ 2017;10(1):53-65)内容の詳細についてのご報告がありました。本研究では、欧州の学術領域においてヘルスプロモーションがどのように捉えられているかの一側面を検証することを目的として、ECSS2016において発表された演題の中から15演題の抄録をデータベース化し、頻出語の検索による質的研究を試みたものでした。このような質的研究は、綿密な分析枠組みの構築により実現されるものですが、森川先生のご研究では健康観や研究対象については対象空間といった健康社会学的な分析軸に基盤を置いていることが強調されていました。

2題目と3題目は、日本女子体育大学の修士課程大学院生により、学内の研究計画発表会に向けた研究提案の場として実施されました。細川佳能先生(スポーツ科学研究科修士1年)からは「地域高齢者のコミュニティ意識の現状とその関連要因—学校教育活動参加経験での検討—」、田中安理先生(同研究科修士1年)からは「高校生の母親の健康づくり活動実施状況と環境要因に関する検討」と、それぞれ題した研究提案がありました。お二人の発表の後に、フロアからは「かつて自身もそうだったように」との前提で、研究生活スタートにあたり有益なご助言を多数いただきました。特に、対象者選定の根拠を明確にしたり、研究結果のバイアスとなり得る他の関連要因についての洗い出しをしたりするなど、多角的な視点から理論的根拠を構築しておく必要性が多くのご助言の共通項であったように思われます。お二



人の研究は、今後の発展が期待されるとの声も多数いただきましたこと、激励に指導教員として感謝したいと思えます。

懇親会会場への移動では、時折豪雨に見舞われながらも、約 20 分間の身体活動を経てのどを潤した 14 名の参会により、その後の議論も大いに盛り上がりました。ご参加くださいました皆様、誠にありがとうございました。(運営委員:助友裕子)



事務局より

○書籍のご案内

- ・「事例分析でわかるヘルスプロモーションの『5つの活動』
～Health Promotion Action Means」健康社会学研究会編(ライフ出版)
- ・定価: ¥2,500+消費税
- ・購入方法

会場販売(3割引 ¥1,900): 当研究会セミナー・月例会の際に販売。

Amazon.co.jp より定価にて販売。

本研究会の特色は、様々な分野で日頃より活動し、「人々の健康」をコンセプトに実践の世界と理論の世界を行き来しようとしている人たちが集っているという点にあります。本書は、そういった会員の皆様より寄せられた具体的事例を取り上げ、「ヘルスプロモーションの5つの活動」という視点から検証しています。

会員の皆様にはすでにお送りしておりますが、関係各所にぜひご宣伝ください。事務局には本書のチラシがございます。必要に応じ、チラシをお送りしますので、事務局まで直接ご連絡ください。

ウェブ上では「書名(事例分析でわかるヘルスプロモーションの『5つの活動』)」を検索エンジンにかけると、ネットでの購入が可能です。

なお本研究会主催のセミナー・月例会の際に直接会場にてお求め頂くと3割引(税込み 1,900 円)での販売を行っております。

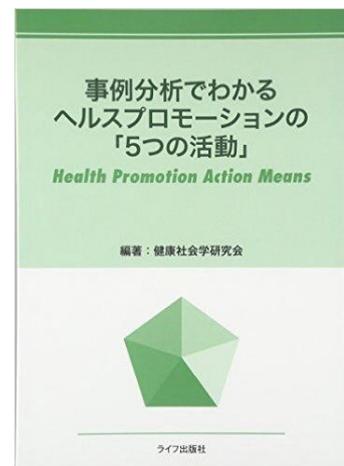
また本書に関するご意見、コメントなどもぜひお寄せください。よろしくお願いいたします。

☆残部に限りがございますが、本研究会に新規ご入会いただいた皆様には、本書を差し上げます。

○ニュースレターの電子化及び紙媒体での発送の継続

前号まで、ニュースレター電子化に伴い、郵送での発送の縮小化をお知らせしておりましたが、引き続きすべての会員の皆様には、紙媒体でもニュースレターをお送りすることとなりました。

なお事務局にメールアドレスを登録されている会員の皆様には、これまで同様、メール配信もいたします。またメールアドレスを登録されていても、所属先のサーバー上で弾かれてしまうこともあります。配信を希望される方は、受信可能なメールアドレスをお知らせください。よろしくお願いいたします。



平成 30 年度会費納入のお願い

毎年会費の納入についてご協力頂きありがとうございます。今年度会費の納入がまだお済みでない方は、同封の払込票、もしくは銀行振込にて平成 30 年度会費の納入をお願いいたします。(既にお振込みいただいている場合、払込票は同封しておりません)

会費納入先

郵便振替:00100-8-41025

銀行口座:

みずほ銀行広尾支店 普通 1842122 健康社会学研究会 代表 松岡正純

ゆうちょ銀行(金融機関コード:9900) 当座 〇一九店(ゼロイチキュウ店:店番019)

0041025 ケンコウシャカイガクケンキュウカイ

〇ご住所、所属先の変更

研究会への登録情報が変更された場合、事務局までご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

〇平成 30 年度退会届

必ず平成 31 年 3 月 31 日(日)までにご提出ください。

なお平成 31 年 4 月 1 日(月)以降に、30 年度での退会のお申出をいただきましても、お受けすることは致しかねます。

〇月例会報告者の募集(随時受け付け)

学会報告や論文の投稿を考えている方、学位論文作成中の方、月例会で報告してみませんか。仮テーマ、発表のご希望時期を事務局へお知らせください。